

母体外因による異常胎児発生の疫学的・臨床医学的・保健医学的研究の

分科会議事録

昭和52年度第1回異常環境分科会議事録

「厚生省心身障害母体外因研究班」のうちの『母体外因による異常胎児発生の疫学的・臨床医学的・保健医学的研究』の昭和52年度第1回分科会は、昭和52年9月2日仙台市において開催された。

日時 昭和52年9月2日(金曜日)午前10時～午後3時30分

会場 東北大学医学部良陵会館大会議室(仙台市広瀬町)

出席者 (敬称略, 順不同)

山形大学 ; 広井正彦, 李裕華, 後藤正
京都府立医大; 東山秀賢
旭川医大 美甘和哉, 芳賀宏光
金沢大学 寺田 督
東京大学 水野正彦, 是沢光彦, 小沢貞徳
京都大学 森 崇英, 藤田泰彦
北海道大学 一戸喜兵衛, 椎名美博, 有賀 敏, 和気徳夫
広島大学 藤原 篤
福島県立医大 福島 務, 根元公夫, 本田 任
慶応義塾大学 鈴木秋悦
東北大学 鈴木雅洲, 平野睦男, 安部徹良, 舟木憲一, 阿保秀夫, 赤間正弘,
星 和彦, 高林俊文, 太田憲道, 劉雪美

以上11機関, 31名出席

プログラム 司会 分科会長 鈴木雅洲

- I 10:00～10:10 開会, 分科会長挨拶
班および分科会の構成について
- II 10:10～10:30 出席者自己紹介
- III 10:30～11:00 事務処理・経理説明
班経理事務担当責任者 阿保秀夫
- IV 11:00～12:30 『母体外因(経口避妊薬・月経周期・排卵誘発・年令・妊娠中絶既往・飲酒・喫煙・コーヒー)による異常胎児発生の疫学的研究(合同)』
- V 12:30～13:10 疫学調査の難易度に関する協議
- VI 13:10～13:40 休憩(昼食)
- VII 13:40～14:20 疫学調査の担当項目の調整および疫学調査の各担当項目の代表者の決定, 期日の決定(本年度の調査用紙記入完了期日, 集計終了期日, 報告書提出期日)。
- VIII 14:20～14:45 経口避妊薬服用後妊娠又は月経不順婦人妊娠による心身障害発生の防止対策に関する研究

座長 分担研究者 広井正彦

- ① 山形大学 広井正彦
- ② 京都府立医大 東山秀馨
- ③ 旭川医大 美甘和哉
- ④ 金沢大学 寺田 督

K 14:50～15:05 排卵誘発妊娠による心身障害発生の防止対策に関する研究

座長 分担研究者 水野正彦

- ① 東京大学 水野正彦
- ② 東北大学 阿保秀夫
- ③ 京都大学 森 崇英

X 15:10～15:30 高年令婦人の妊娠による心身障害発生の防止対策に関する研究

座長 分担研究者 一戸喜兵衛

- ① 北海道大学 一戸喜兵衛
- ② 広島大学 藤原 篤
- ③ 福島医大 福島 務
- ④ 慶応義塾大学 鈴木秋悦

XI 15:35 分科会長挨拶(閉会) 解散

連絡事項および決定事項

1. 当分科会の研究は疫学中心で3年間の予定。
1. 昭和52年度第2回分科会は遅くとも2月下旬には開き，班総会を2月下旬から3月上旬に開催する予定。
1. 事務処理については9月中旬の昭和52年度心身障害研究事務担当者連絡会議後に文書にて連絡する。
1. 研究費配分は12月の末日頃になる予定。

以上連絡事項は分科会長鈴木雅洲教授および事務会計責任者阿保秀夫氏より伝えられた。

1. 疫学調査項目は以下のごとく5項目に決定し，嗜好品は喫煙，飲酒，コーヒーについて調査することになった。また集計代表機関も以下のごとく決定した。

調査期間：3年間(昭和52年度～54年度)

調査項目及び研究協力者(昭和52年度)

		年齢	月経周期 異 常	経口避妊薬	排卵誘発剤	異常妊娠	嗜好品
鈴木雅洲	東北大	○	○	○	○	○	◎
広井正彦	山形大	○	◎	○	○	○	○
岡田弘二	京府医大		○	◎	○	○	○
西田悦郎	金沢大	○	○	○	○	○	○
水野正彦	東大	○	○	○	○	◎	○
森 崇英	京大	○	○		◎		○
一戸喜兵衛	北大	◎	○	○	○	○	○
藤原 篤	広大	○	○			○	○
福島 務	福島医大	○		○		○	○
鈴木秋悦	慶応大	○	○				○

※ ◎は担当項目の代表機関で，その項目に関して他機関のプロトコールを集計する。

1. プロトコールについては、一応東北大学より配布されたプロトコールを統一使用することに決定し、9月10日頃までに各機関に1000部ずつ配送し原簿とする。
1. コントロールは各代表機関に一任することになった。

以上決定事項

第2回 異常環境分科会議事録

〔名称〕 昭和52年度厚生省心身障害研究国庫補助金による「母体および胎児に対する外的因子に関する研究」のうちの『母体外因による異常胎児発生の疫学的・臨床医学的・保健医学的研究』の第2回分科会（昭和52年度研究成績報告会）

〔日時〕 昭和53年3月7日（火曜日）午前9時～午後3時30分

〔会場〕 東京ステーションホテル「竹の間」（東京都）

〔出席者〕 （敬称略，順不同）

旭川医大 ; 上口勇次郎，芳賀宏光
 北海道大学 ; 一戸喜兵衛，椎名美博，石崎善昭，和気徳夫，岡田雄一，山崎秀博
 北里大学 ; 豊田 裕，福田芳詔
 山形大学 ; 広井正彦，李 裕華，齋藤憲康
 福島県立医大； 福島 務，根元公夫，本田 任
 金沢大学 ; 寺田 督
 東京大学 ; 水野正彦，安部正雄，是沢光彦，小池貞徳，佐藤正仁
 慶応義塾大学； 鈴木秋悦，北井啓勝，今川賢一郎，大庭三紀子
 京都大学 ; 森 崇英，藤田泰彦
 京都府立医大； 東山秀賢
 広島大学 ; 大浜紘三
 東北大学 ; 鈴木雅洲，平野睦男，安部徹良，阿保秀夫，赤間正弘，星 和彦，
 高林俊文，太田憲道，劉 雪美，齋藤友子，遠藤由美子
 厚生省母子衛生課， 中原俊隆

以上出席者 42名

〔議事〕

I 受け付け，文書配布（8：50～9：00）

II 分科会長挨拶（開会）（9：00～9：05）

分科会長 鈴木雅洲

III 事務，経理説明（9：05～9：30）

班経理事務担当責任者 阿保秀夫

IV 昭和52年度研究成果の発表 二午前の部（疫学的研究）＝

司会 分科会長 鈴木雅洲

1. 母体外因による異常児発生の疫学的研究 一各機関の発表（9：30～10：40）

座長 分科会長 鈴木雅洲

参加各機関毎の研究成績報告者は下記の如し。

東北大学 ; 赤間正弘

北海道大学 ; 一戸喜兵衛

山形大学 ; 広井正彦

東京大学 ; 水野正彦
 金沢大学 ; 寺田 督
 京都府立医大 ; 東山秀賢
 京都大学 ; 森 崇英
 広島大学 ; 大浜紘二
 慶応義塾大学 ; 鈴木秋悦
 福島県立医大 ; 福島 務

2. 母体外因による異常児発生の疫学的研究 一代表機関の発表 (10:40~12:00)

座長 分科会長 鈴木雅洲

代表機関毎の項目と研究成績報告者は下記の如し

年 令 北海道大学 ; 一戸喜兵衛
 月経周期異常 山形大学 ; 広井正彦
 経口避妊薬 京都府立医大 ; 東山秀賢
 排卵誘発剤 京都大学 ; 森 崇英
 異常妊娠 東京大学 ; 安部正雄
 喫 煙 東北大学 ; 星 和彦
 飲 酒 東北大学 ; 高林俊文
 コーヒー 東北大学 ; 劉 雪美

V 合同疫学調査に関する討議および昼食 (12:00~13:00)

VI 昭和52年度研究成果の発表—午後の部(実験的研究)—

1. 経口避妊薬服用後妊娠, 又は月経不順婦人妊娠による心身障害発生の防止対策に関する研究 (13:00~13:50)

座長 班員 広井正彦

- (1) 山形大学 広井正彦
- (2) 京都府立医大 東山秀賢
- (3) 経口避妊薬の催奇性に関する発生学的・細胞遺伝学的研究
 旭川医大 上口勇次郎
 同 芳賀宏光
- (4) 金沢大学 寺田 督

VII 排卵誘発妊娠による心身障害発生の防止対策に関する研究

座長 班員 水野正彦

- (1) ゴナドトロピンによる遅延排卵・過排卵の卵に及ぼす影響
 東京大学 是沢光彦
- (2) ゴナドトロピンによる排卵誘起がその後の妊娠および胎仔に及ぼす影響
 東北大学 阿保秀夫
- (3) 性腺刺激ホルモンによる誘発排卵の受精に及ぼす影響
 北里大学 豊田 裕
- (4) ヒト卵胞のステロイド生合成機能におよぼすHMG投与の影響
 京都大学 藤田泰彦

VIII 高年令婦人の妊娠による心身障害発生の防止対策に関する研究

座長 班員 一戸喜兵衛

- (1) 胞状奇胎の発生に関する研究
北海道大学 和気徳夫
- (2) 高年令婦人と染色体異常児との関連について
広島大学 大浜紘三
- (3) 福島大学 福島 務
- (4) 高年令婦人の卵巣に関する形態学的研究
(卵子の老化過程に関する研究)
慶応義塾大学 鈴木秋悦

K 分科会長 挨拶(閉会)

分科会長 鈴木雅州

閉会後も同会場における18時からの班会議発表のための討議が、班員と研究協力者の間で熱心に行なわれた。

厚生省心身障害母体外因研究班超音波分科会

母体および胎児に対する外的因子に関する研究 一分科会(超音波パルス波の胎児に対する安全性に関する研究)議事録

分科会長 鳥取大学医学部
前田 一 雄

第1回分科会

日 時 : 昭和52年8月14日 午後3時

場 所 : 東京駅ステーションホテル

出席者 : 阿保秀夫, 清水哲也, 高林俊文, 井出正男, 諸橋 侃, 近田伸一, 竹内久彌,
穂垣正暢, 原 量宏, 竹村 晃, 関場 香, 丹羽国泰, 赤松信雄, 前田一雄,
寺原賢人, 渡部道雄

議 事 :

1. 分科会長挨拶, 概要説明

- (1) 本分科会は「超音波パルス波の胎児に対する安全性に関する研究」と称する。
- (2) 本分科会は以下の分担研究者, 研究協力者および事務担当者をおく。

① 超音波パルス波の染色体に及ぼす影響に関する研究

鳥取大	前田一雄	(分担研究者)
東京大	坂元正一	(研究協力者)
旭川医大	清水哲也	(")